

## 令和7年度 日本大学習志野高等学校学校関係者評価票 (総括)

令和7年度、習志野高等学校より依頼を受けた学校関係者評価者の代表として総括いたしました。

### ☆教育活動

「新学習指導要領を踏まえた授業・評価の改善 (B)」・「高大接続改革 (B)」・「カリキュラム改訂 (A)」

I. 当該項目について関心を持っている点、特に注目した取り組み
1. 新学習指導要領を踏まえた授業・評価の改善について
①授業・評価の改善について ・観点別評価のあり方、「知識・技能」だけでなく、「思考・判断・表現」や「学びに向かう力」を可視化。各教科で基準を定め、学年末のフィードバックを通じて次年度の改善に繋げる取り組みを実施している。
②「総合的な探究の時間」について ・組織的な探究学習プログラムが計画されており、発表する機会を設けている。時間割の中にも LHR に続けて探究の時間をとり、充実した活動ができるようになっている点。 これまでの「調べ学習」から脱却し、2年間かけて課題設定から発表までを行う計画に変更
③日本大学の「SDGs 持続可能な開発目標」について ・日本大学理工学部の教授や、立命館アジア太平洋大学 (APU) の講師を招き、最先端の研究やグローバルな視点を取り入れた講演を実施。2年次にクラス発表を行い、選抜された生徒が11月の全体発表会で成果を披露。将来的には全国大会への出場も視野に入れている。
④「ICTを活用した協働的な学習や振り返り活動」について Classi：学習記録の管理、学校・保護者間の連絡（欠席連絡等）をデジタル化。 MetaMoJi Classroom：英作文のリアルタイム添削や、グループでの共同学習、議論の全体共有を効率的に実施。行事・部活での活用（文化祭の PR 動画制作（高いクオリティ）や、部活動での動画を用いた技術向上・連絡体制の構築） ・デジタル採点ソフト：観点別の得点集計を自動化。集計ミスの防止と教員の働き方改革、詳細な学習分析（授業改善）に寄与
2. 高大接続改革の実践
CST コース CSTMU（モチベーションアップ）プログラム ・日本大学理工学部への併設校としての利点を活かし、2年次では理工学部全14学科を訪問し、3年次には、進学希望学科の担当教員の指導の下で、各自の研究を進めていく点。12月に「成果発表会」を実施。
3. カリキュラム改定について
・1年生の授業科目数の軽減と3年次の分野別選択制科目の増加。 ・第一志望の大学に入学するためのカリキュラムへの改定となっている。
II. 当該校の取り組みについて優れていると認めた点
3. カリキュラム改定について ・1年生の授業科目数の軽減に取り組みされた点は評価できる。 ・適切に対応している。今後も更なる向上に努めてほしい。 ・入試に対応できるよう、個々に応じた授業選択を通じて、生徒がじっくりと学べる環境づくりを行っていることは、良い取り組みであると考えます。
III. 改善が必要と思われる点、今後望まれる取り組み

### 3. カリキュラム改定について

- ・1年次の科目削減や、3年次の2科目選択制（難関大対応）への変更は、生徒のニーズに即した「出口を見据えた」改善であり期待できそうだ。

### IV. その他気づいたこと

#### ※授業について

- ・生徒の主体的・対話的で深い学びにつながる授業を実践している。
- ・見学の際、授業中の先生と生徒との生きいきとした質疑応答と授業内容の充実、先生方の教務力の素晴らしさを実感した。iPadを使った授業の効用と効果も実感した。
- ・英語の時間では、生徒たちの生き生きとした授業が見られた。導入部分では、2人組をつくり1人が英語のみで説明して、1人がその説明を聞いてあてるなどゲーム感覚で楽しくスタート。英単語の確認なども楽しんでいた。
- ・古典の伊勢物語では、説明も丁寧でいまの子供たちにもイメージしやすい内容だった。チョークの色分けや単語の意味が必要なもの等分かりやすいものだった。また、生徒のノートもしっかりと予習してあるノートだった。
- ・数学の模試解説についてもわかりやすく、工夫した解き方を説明していた。特に動点Pが動くときの最大の面積の説明が生徒への気づきを感じさせる展開だった。

#### ☆学校生活への配慮

「いじめ防止のための取組 (A)」・「校則の改訂 (B)」

#### I. 当該項目について関心を持っている点、特に注目した取り組み

##### 1. いじめ防止のための実態

- ・定期的にアンケートを取っている事は評価できる。
- ・生徒と担任の2者面談の他、年に2回三者面談を行っている。
- ・社会の変化に合わせた校則の見直し。

#### II. 当該校の取り組みについて優れていると認めた点

##### 1. いじめ防止のための対策について

- ・想像を超える緻密な計画と実践で素晴らしい実績を十分に感じた。日頃からの生徒との強い信頼と絆の賜物と思う。
- ・いじめアンケートの設問内容や回収の仕方等様々な点に配慮されている。また、集計結果についてもきちんと集計されている。

#### III. 改善が必要と思われる点、今後望まれる取り組み

##### 1. いじめ防止のための取組について

- ・いじめを訴えた生徒への対応については、一度の面談で終わらせるのではなく、定期的なフォローアップを行うことが重要であると感じる。

##### 2. 校則の改訂について

- ・現状、月1回の頭髪服装検査を実施しているが、「点検日」をできるだけなくし、日常生活の中で自己管理を促すスタイルに移行できるとよいと思う。100周年に向けた制服刷新を機に、生徒による「着こなしガイドライン」作成など、生徒主導の規律作りを進めるなどもよいかと思う。

### IV. その他気づいたこと

### 1. いじめ防止のための取組について

・いじめは比較的少ないと感じられるものの、SNS を利用したいじめなど、近年はその傾向が変化している。時代の流れに即した早期発見に向けた取り組みが必要であると考え。

### 2. 校則の改訂について

・頭髪服装検査については、生徒面談の際にも話題に上がった。先生方のチェックの基準のあいまいさや統一をするための話し合いなどがされるなどの話も聞いた。現在の多様性を尊重することの大切さから考えると難しくなっている。教室内に、目標が掲示してあった点もよいと思う。

## ☆「第1志望合格への実現～特に個別に対応した進路指導の徹底～(A)」

### I. 当該項目について関心を持っている点、特に注目した取り組み

・生徒自身に「本当に行きたい学校」「学びたいこと」を考えさせ、大学選択の方向性を定める一助としている点は評価できると考える。

### II. 当該校の取り組みについて優れていると認めた点

・併設である日本大学理工学部入学も含めた第一志望合格への実現という目標は、とても妙を得て、核心をついている。正に優れた方針であると実感した。さらに優秀な他大学への合格者を出し続けることも大事なことである。

・進路指導のための体制を、担任の先生始め多数の先生が様々な形で一人ひとり丁寧に実施していることは素晴らしいこと。どの場面で、どの先生の示唆が各生徒さんの進路の決定に寄与するかは、正にドラマチックだ。進路決定は人生の様々な場面であるが、高校卒業時の進路決定は、最も重要な決定の一つだ。一人ひとりの生徒さんにとって格好の最適な高校であることを願っている。

・マインドセットの変革: 「自分の能力に限界を決めない」「目標を高く持つ」ことを徹底。

・指定校推薦枠に縛られず、自らの学力で第一志望を勝ち取る姿勢を育てている点

・GMARCH 等の難関私大合格者数が増加

・生物資源科学部獣医学科についても多くが合格した点。

### III. 改善が必要と思われる点、今後望まれる取り組み

・一般入試でも十分に戦える学力を備え、ポテンシャルの高い生徒は多いと感じている。

進路選択にあたっては保護者の意向も重要だが、受験勉強の成果は最終的には本人の意欲に大きく左右される。主体的に取り組む生徒は着実に力を伸ばす。そのため、学校と保護者が連携し、生徒一人ひとりの意欲を引き出し、前向きな方向へ導いていくことが大切だと考える。

・第一志望合格への実現に向けて生徒一人ひとりに対する対応

・「指定校推薦」がメインで、カタログから選ぶような大学選びが常態化し、入学後のミスマッチや成績不振が課題であったが、第一志望に向けて生徒一人ひとりに対する対応することで「出口(進学実績)」を向上させてきている。さらに高い目標設定を促していく。

### IV. その他気づいたこと

- ・大学選択においてまず考えるべきことは、「自分が何をやりたいか」という点。高校1～2年の段階では、将来像がまだ明確に定まっていない生徒も多いと感じる。そのため、社会で活躍されているさまざまな業界の方による講演やお話の機会があれば、生徒が将来を考えるうえでの良い参考になるのではないかと思う。
- ・学力が重視されており、非常に素晴らしい。年内入試（総合型選抜）等の対応が少ないということで、学習に専念できてよい環境だと感じた
- ・今後カリキュラムの変更（理系3年次理科2科目選択可）で、さらに早慶理科大などの進学率アップが期待できる。

☆管理運営 「令和8年度入学生生徒募集の強化（A）」「100周年に向けての施策（B）」

I. 当該項目について関心を持っている点、特に注目した取り組み

1. 令和8年度入学生生徒募集の強化について

- ・インスタグラムの活用など、時代の流れに即した情報発信は必要であると感じる。「この学校は楽しそう」「ここでなら大学受験も頑張れそう」と、生徒が憧れを抱ける学校づくりにつながれば良いと考える。
- ・少子化の影響で母集団が減る中、直近2年間で多くの志願者を確保し、安定した人気を維持している点。

2. 100周年にむけた取り組み

- ・モニュメント建立、「選ばれる学校」になるための独自性を追求

II. 当該校の取り組みについて優れていると認めた点

1. 令和8年度入学生生徒募集の強化について

- ・インスタグラムの活用
- ・「ミニ説明会（200組規模）」は、予約開始後2～3日で満席になる状態
- ・幕張や市川での大規模フェアでは大行列ができるほどの人気千葉県内だけでなく、東京（江戸川・江東区）、柏方面など、より広いエリアからの受験生呼び込みに注力。

III. 改善が必要と思われる点、今後望まれる取り組み

1. 令和8年度入学生生徒募集の強化について

- ・生徒の生の声に耳を傾けることが、最も改善につながると考える。
- ・行事における生徒の満足度や意見の分析についても、肯定的でない意見を含めて丁寧に把握・検討することで、今後の行事のさらなる充実につながるものと思う。

2. 100周年にむけた取り組み

- ・100周年に向けた取り組み（施設）、物価上昇で今後心配。
- ・第二体育館・吹奏楽部が演奏できるようなホール機能等期待できる。

IV. その他気づいたこと

- ・特になし

全体評価（各評価項目またはその他全体的な活動の中でお気づきの点を御記入ください）

<p>評価概況</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生徒の学力や進路意識を踏まえた教育活動が行われており、大学進学を見据えた学習環境の整備や、生徒主体の進路選択を重視する姿勢が評価できる。</li><li>・学校行事や情報発信、生徒指導においても改善に向けた意識が見られ、今後のさらなる充実が期待される。</li><li>・日本大学のキャンパスにあり、校舎が素晴らしく環境がよい。</li><li>・先生、学生が素晴らしい。</li><li>・探究学習の再構築と大学連携の CST クラス。</li><li>・生活指導と校風については、時代に合わせた「自律と多様性」を重んじる方向へシフト。</li><li>・女子のスラックス導入や防寒着の自由化など、生徒の健康や多様性に配慮したアップデート。</li><li>・附属校の安定感を土台にしつつ、自力で難関大を突破する進学校。</li><li>・第一志望合格の道。GMARCH 合格者数が増加。強いモチベーション育成。</li><li>・選ばれる学校へ 中学生とその保護者からの人気非常に高く、ブランド価値が上昇。</li><li>・100 周年に向けた 制服・記念棟・記念誌。 「制服リニューアル」や「施設拡充」という明るい話題で人気上昇。</li></ul>
<p>評価できる点</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・一般入試にも対応できる学力を備えた生徒が多く、個に応じた授業選択により、じっくり学べる環境づくりが進められている点。</li><li>・1 年生の授業科目数軽減など、生徒の学習負担に配慮した取り組み。</li><li>・生徒自身に「本当に行きたい大学」「学びたいこと」を考えさせ、進路選択の方向性を明確にする指導を行っている点。</li><li>・行事等において、生徒の満足度や意見を把握し、分析しようとする姿勢が見られる点。</li><li>・素晴らしい環境を維持していること。校舎が、いつもきれいに掃除がなされている。</li><li>・校舎も非常にきれいで、教室内、掲示物等整理整頓されている。また、生徒下校後で施錠等きちんとしている。施設に関しても、コンビニ・生徒ラウンジ・テラス・武道館・テニスコート・グラウンド等非常に充実している。体育館への渡り廊下には、写真部の展示があり部活動の作品などが並べてあり非常に良い。教員室・研究室とありよい環境である。</li></ul> <p>※生徒面談（生徒会 3 名）の中から</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生徒会活動・部活動等 生徒充実した生活で楽しい。</li><li>・3 人の生徒が、はきはきと学校の素晴らしさと魅力を語っていた。そして日大習志野高校生であることをとても誇りに思っている、と生徒自身が言っている。</li><li>・生徒会のアンケート 生徒行事のときだけでもスマートフォンを使わせてほしい。iPad での写真不便。校則等については、女子のスカートを折ることと男子の頭髪で耳や目にかかるが先生によって違いがある。帰り道の立ち寄り OK。電子マネー OK。</li><li>・入学してよかったこと 先生と生徒の距離関係が近く、先生も生徒もしっかりとしている。 校舎がきれい。日大に進学できるのもよい。 やりたいことができる。（部活ではないけれど、水泳やスキーで大会に出場する人もいる）</li></ul>

・その他

先生とは、話しやすい。相談しやすい。

数学の質問があるときに、研究室に入り口の近くで行くとすぐに説明してくれるのでよい。

昼休み ローソン ラウンジ テラスなどで過ごすことができる。

1年生のときに15科目のテストに慣れていたので、2年次には楽に感じた。

改善すべき点

・いじめへの対応については、特にSNSを利用した事案など時代の変化を踏まえ、早期発見と継続的なフォローアップ体制の強化が必要である。

・行事や学校運営に関する生徒の意見分析においては、肯定的でない声にも十分配慮し、改善につなげていくことが求められる。

・頭髪服装検査のあり方。

・改定カリキュラムの実現。

・100周年の記念棟、実現に向けて。

・生徒の目線で学校に改善してほしいこと。

先生同士の認識が共通であってほしいことと授業の分かりやすさに差があること。